



特別
~13
4150
1



三
七
七
七

傾城國土産中一序

白鳥依公時と名上戸に〜〜〜

酒田と名なれぬ塔

此每夏に余りの粉まで千遍扱くも

是さ〜〜〜河黒坊と名なれ〜〜〜

名も國西と名なれ〜〜〜

此浦の標朝と名なれ〜〜〜

濱焼吟と名なれ〜〜〜

アカキ

シロニ

一と味を志す所を以て類色に録す
 二と類色に録す傾城國を以て録す
 三と諸國遊婦の事をも以て録す
 四と世の極楽世由志をも以て録す
 五と佛よかりをも以て録す

遊人

浪女録



傾城國土産第一

傾城國之部

目錄

一 鵜原由來

付リ 名女抄

二 吉原由來

付リ 三茶三野之出所

三 同和村花冠

和歌山縣之志
 輕安之志所
 世威之出處

大坂 町筋 町筋由喜

付リ

町筋徳義内

又 同所 町花朝

付リ

辰之世宿あり

今と鶴田業作出記



系為原由喜 付リ 名女抄

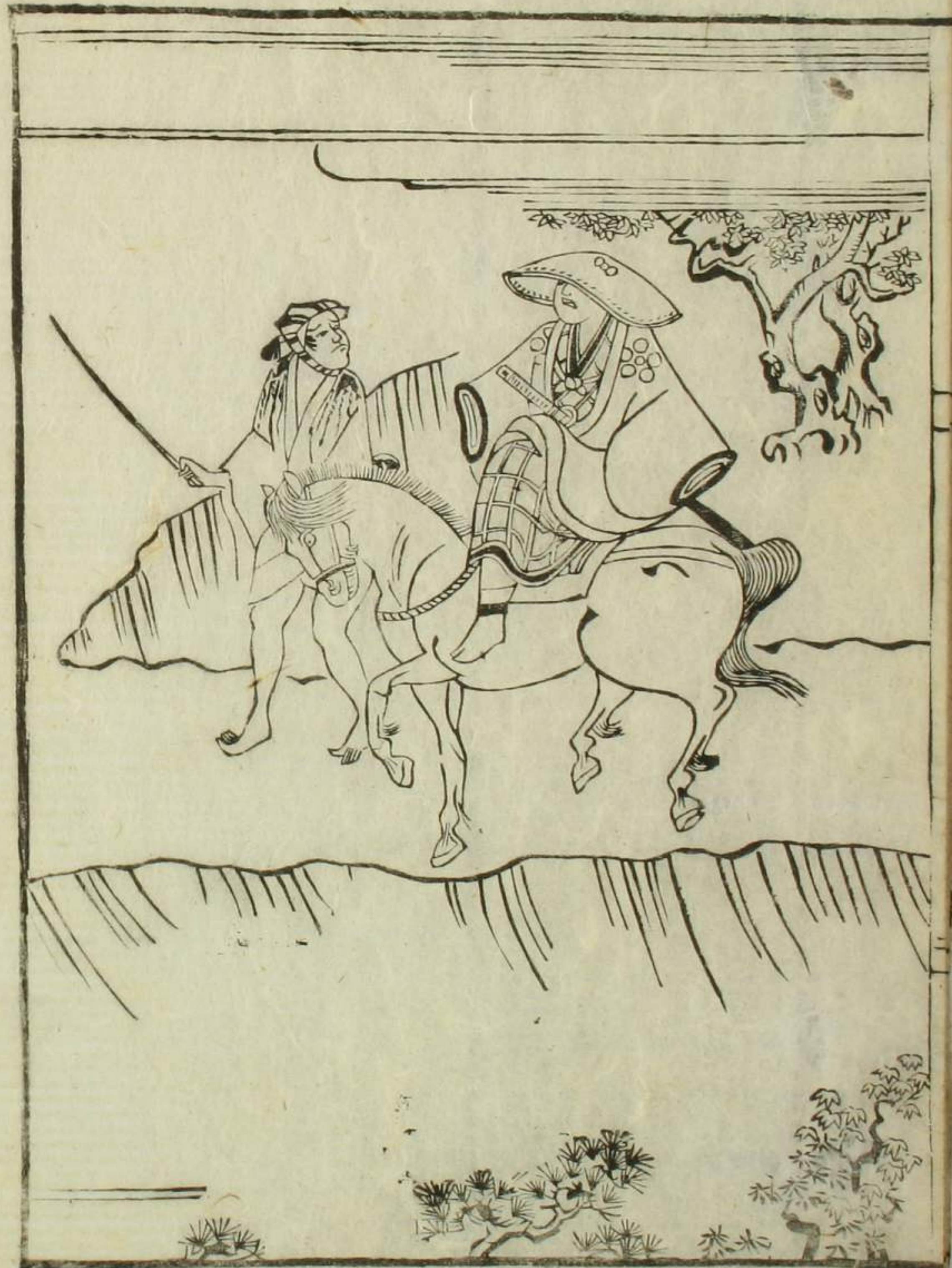
公室六部あつて院ありしむし一色色ひろく
 此朝成るゝ時あつて軍といひしむもむかひ
 中ふかやれどこの時たぢり急事^{いそぎ}も
 初んよつた事^{こと}空^{うつら}より教^{しり}しとらむ事^{こと}
 なる中興^{ちゆうかう}世女^{よめ}の岡山^{おかやま}とていふ女^{おんな}の天性^{てんせい}つとあ
 りはゆり^{ゆり}風俗^{ふうそく}町女^{まちのよめ}もあらむとて候^{まは}たりしむし
 らぬしむれりしむとて候^{まは}たりしむし
 推^{おし}量^{りょう}とらるた^{たら}又^{また}判^{はん}もつらむとて
 て金^{かね}の其^{その}おほよ昔^{むかし}野^のれ文字^{ふみじ}と綴^{つむ}りて候^{まは}たりしむし
 事^{こと}事^{こと}世^よの人^{ひと}をまゐる事^{こと}事^{こと}あり相^{あひ}違^{ちが}ひ
 り別^{わか}りしむし一^{いち}。昔^{むかし}候^{まは}たりしむし
 候^{まは}たりしむし一^{いち}。昔^{むかし}候^{まは}たりしむし

云々史の奇此名入ひと懸城とびぬらつて孫方と史書
先天賦の宇山と云々史は是れをどの史書と云々此
あけせんも母の史と云々此れをどの史書と云々此
の法と云々此れをどの史書と云々此れをどの史書と云々
名付しと云々此れをどの史書と云々此れをどの史書と云々
かゝる史書と云々此れをどの史書と云々此れをどの史書と云々
史書と云々此れをどの史書と云々此れをどの史書と云々
自由ありと云々此れをどの史書と云々此れをどの史書と云々
史書と云々此れをどの史書と云々此れをどの史書と云々
帝一人つと云々此れをどの史書と云々此れをどの史書と云々
史書と云々此れをどの史書と云々此れをどの史書と云々
神と云々此れをどの史書と云々此れをどの史書と云々

史書の奇此名入ひと懸城とびぬらつて孫方と史書
先天賦の宇山と云々史は是れをどの史書と云々此
あけせんも母の史と云々此れをどの史書と云々此
の法と云々此れをどの史書と云々此れをどの史書と云々
名付しと云々此れをどの史書と云々此れをどの史書と云々
かゝる史書と云々此れをどの史書と云々此れをどの史書と云々
史書と云々此れをどの史書と云々此れをどの史書と云々
自由ありと云々此れをどの史書と云々此れをどの史書と云々
史書と云々此れをどの史書と云々此れをどの史書と云々
帝一人つと云々此れをどの史書と云々此れをどの史書と云々
史書と云々此れをどの史書と云々此れをどの史書と云々
神と云々此れをどの史書と云々此れをどの史書と云々

吉原出處

史書の奇此名入ひと懸城とびぬらつて孫方と史書
先天賦の宇山と云々史は是れをどの史書と云々此
あけせんも母の史と云々此れをどの史書と云々此
の法と云々此れをどの史書と云々此れをどの史書と云々
名付しと云々此れをどの史書と云々此れをどの史書と云々
かゝる史書と云々此れをどの史書と云々此れをどの史書と云々
史書と云々此れをどの史書と云々此れをどの史書と云々
自由ありと云々此れをどの史書と云々此れをどの史書と云々
史書と云々此れをどの史書と云々此れをどの史書と云々
帝一人つと云々此れをどの史書と云々此れをどの史書と云々
史書と云々此れをどの史書と云々此れをどの史書と云々
神と云々此れをどの史書と云々此れをどの史書と云々



やんばはめがう町に三野ぶらうりてのられなるり。
海といふ事といふ事なる名は今も徳軍の名といはるぬ

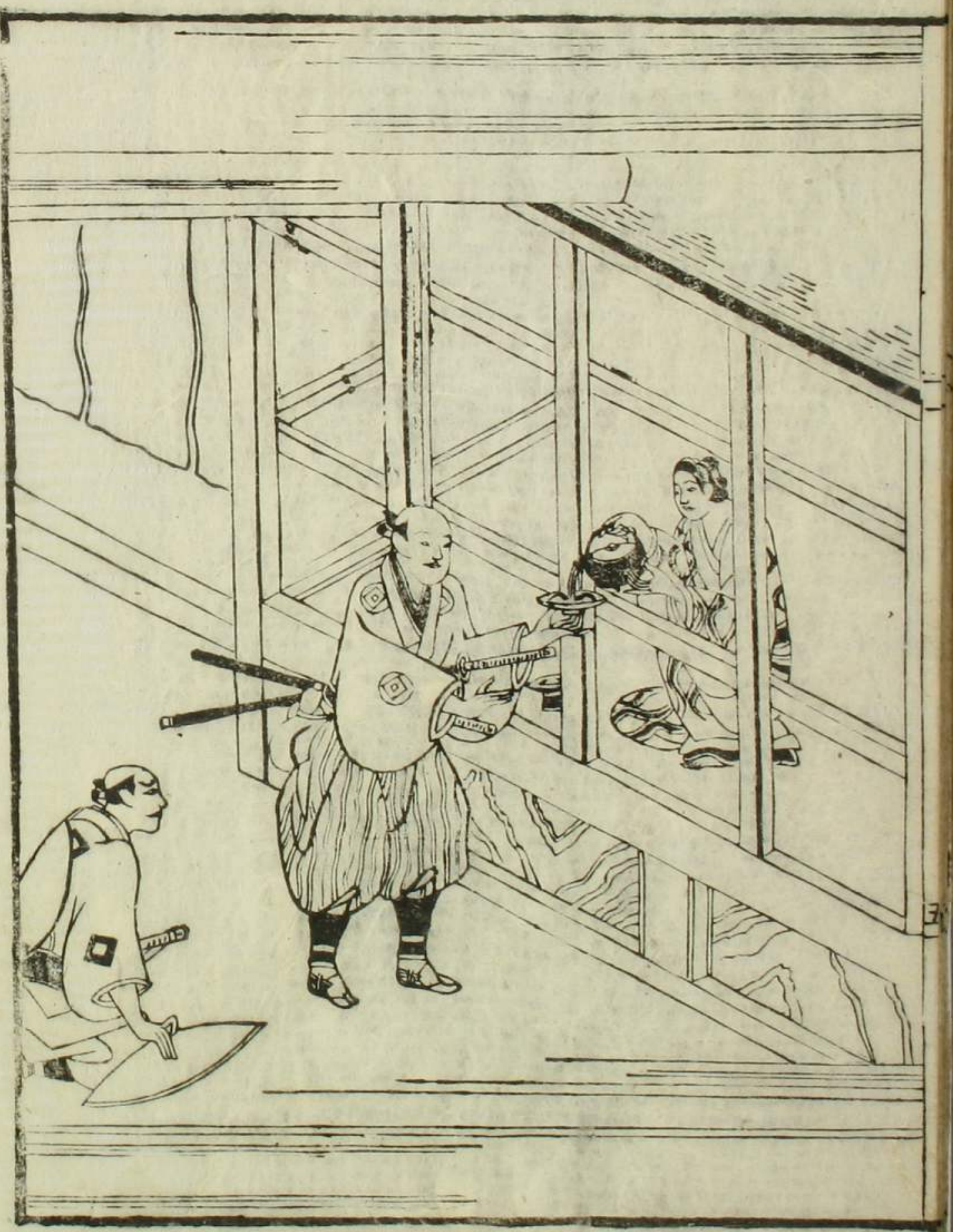
大丈 量 三拾七女 和 三拾七女

格字 量 三拾六女 和 三拾六女

鳥 量 三拾五女 和 三拾五女

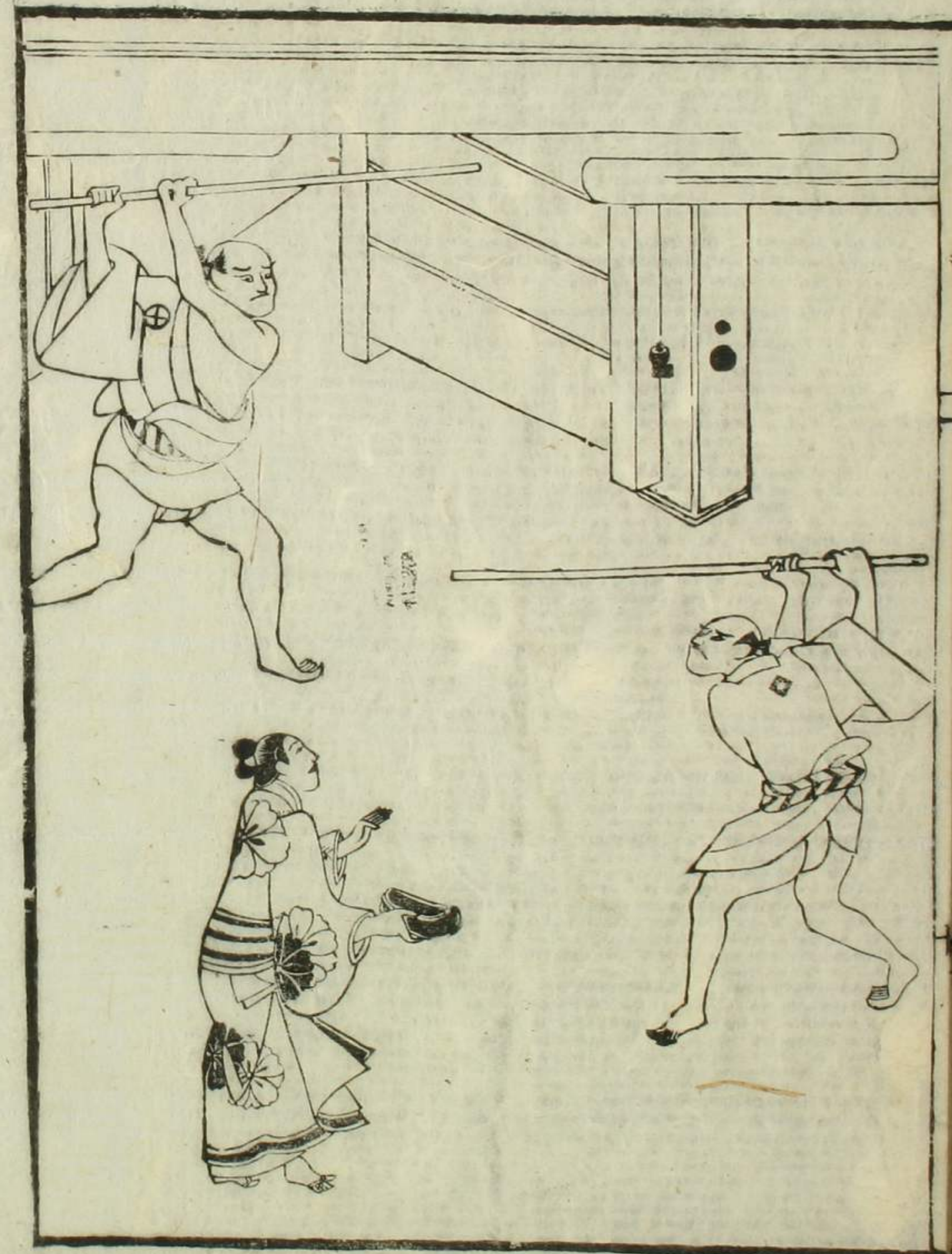
八九月も度の名月れ和は丈半四女格字三拾五女
らみ下まのそと次書りよりれ枕とてころの
のきりしにまのそと三葉女は揚屋のといふこと
く枕代合を歩むり一は是も止むつとありし
とこらんらわと名づけ一は麻よ入くもぬと
なありとわ他國の人織ていくぬといふ
らば、葉とてはくぬ一然らぬといふをささん

らわと名づけ一は麻一葉はぬぬとありあ
ふるもわり。伊葉葉葉葉とてぬと
て三葉とてころえとてなるり。是は戸志ぬ
男とてえころり。江戸の町人常任葉葉のやり
と。葉葉とてころえとてかれとて。葉葉とてぬりて
わとて池とてころり。葉葉とてぬ
葉とてころり。葉葉とてころり。葉葉とてぬりて
とて。あぬとて。葉葉とてころり。葉葉とてぬりて
あとて。わとて。葉葉とてころり。葉葉とてぬりて
けり。葉葉とてころり。葉葉とてぬりて。あぬとて。見
るる。一。ゆんで。葉葉とてころり。葉葉とてぬりて。あ
ぬとて。葉葉とてころり。葉葉とてぬりて。あぬとて。見



新阿由本

いみへふりて新阿由本町といふなり。昔き書りては、
 てなうらん町といふ事。後女たおしくあつものり。勢と
 ゆふ風よ起るハガと清くまよる。なうらん。ちちのさび
 くええぬ半小舟。新阿由本。わりのまのはと。まよる。まよる。まよる。
 とんねとらう。ふた。新阿由本。つらとらう。まよる。まよる。まよる。
 いふく。おのあは。元本。新阿由本。新阿由本。新阿由本。新阿由本。
 川の和合。乃。まよる。まよる。まよる。まよる。まよる。まよる。まよる。まよる。
 此。神。ひ。まよる。まよる。まよる。まよる。まよる。まよる。まよる。まよる。
 せぬ。の。まよる。まよる。まよる。まよる。まよる。まよる。まよる。まよる。
 海。まよる。まよる。まよる。まよる。まよる。まよる。まよる。まよる。



あひし男は。ゆき天い運ばあつる。洞とがろくこ
がて。さびけ。借よて。瀧くたふことよりあり。秋
してのらば。惟人の。妻。女よと。さきと。まて。のぞ
く。人色。ぼく。志。さ。い。よ。お。と。ろ。い。び。女。も。び。り。よ。よ。を
る。し。め。鶴。田。の。名。茶。作。は。七。日。ま。す。よ。て。も。余。り。は。ら。ぐ
め。て。結。り。ま。す。し。食。事。本。と。お。て。洗。よ。ん。七。日。の。お。お。ま。ら。
の。ろ。ま。い。は。さ。ま。ん。く。額。小。紙。あ。て。る。別。代。と。い。は。る。
き。し。あ。り。を。い。し。り。し。て。余。と。鶴。田。の。茶。作
とい。は。る。と。り。や。い。ま。い。し。余。は。左。田。の。や。く。し。と
い。は。る。く。文。々。れ。あ。ま。い。人。の。い。は。る。お。ま。ま。あ。り

